

# 腎機能評価の基本とコツを考える 実践ワークショップ

**ワークショップの意義:**「目の前の症例に対して有効かつ安全な最高の薬物療法を責任もって提供する」のが薬剤師の務めです。小グループに分かれ、実際の症例に基づいてグループワークを行う実践的なワークショップに参加してみませんか？病態と薬物療法に関する基本的な解説も行います。情報の収集能力、検索能力を高めるために PC や iPad、スマホ、医薬品集などの持込みを歓迎します。

初心者・動態や病態がよくわからない人等に参加いただくと幸いです。

- ①肥満患者の腎機能で気を付けることは？
- ②長期臥床の高齢者の腎機能評価の注意点は？
- ③添付文書が CCr で表記してるけど eGFR は使える？等

## 腎機能評価の基本についてレクチャー

↓  
症例提示

↓  
病態を把握し問題点を絞り込み、薬物療法について話し合しましょう

↓  
最適な薬物療法になるよう腎機能を正しく把握しましょう

↓  
腎臓の役割・病態・薬物の理解を深めましょう  
(解説)

↓  
まとめ



**先着 60 名 (ディスカッション希望者 30 名、聴講希望者 30 名)**

企画担当 : 森 直樹 (くまもと温石病院)

チューター : 徳永 晃己 (済生会熊本病院)、近藤 悠希 (熊本大学薬学部)

門脇 大介 (崇城大学薬学部)、宮村 重幸 (崇城大学薬学部)